

# 平成19年度 業績計画

## はたぶあやらぎせん (都)幡生綾羅木線

平成19年度末 全線供用予定

●(都)幡生綾羅木線は、中国縦貫自動車道下関ICと下関港沖合人工島を結ぶ区間のうち、延長1.2km(下関市幡生宮の下町～同市武久町)の幹線道路です。



① 幡生口交差点



② 幡生駅前交差点



取り組み概要

### 整備の目的

#### ●交通渋滞の緩和

主要渋滞ポイントに位置づけられている、一般国道191号の幡生口交差点、一般県道武久棕野線の幡生駅前交差点の交通渋滞の緩和を図ります。

#### ●港湾・新幹線など広域交通拠点やI.Cへのアクセス

広域交通ネットワークの形成により、下関港沖合人工島や下関I.Cへの移動時間の短縮、マルチモーダルの促進、物流等の円滑化を図ります。

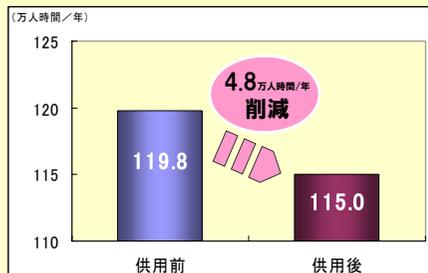
#### ●市街地近郊での都市的土地利用の増進

沿線での都市的土地利用の促進を図ります。

### ● 渋滞損失時間の削減が期待できます。

今回の全線供用により、4.8万人時間/年の渋滞損失時間の削減が見込まれます。

#### ▼ 渋滞損失時間の削減

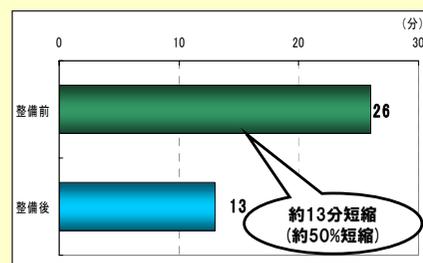


「H11年道路交通センサス」、「将来交通量推計」、「バスプローブデータ」

### ● 所要時間の短縮が期待できます。

下関港沖合人工島から下関I.Cの所要時間約26分が、今回の路線供用により約13分の時間短縮が見込まれます。

#### ▼ 下関港沖合人工島から下関I.C移動時間の変化



※山口県算出

期待される整備効果

# H20年度以降の取組み

努力します

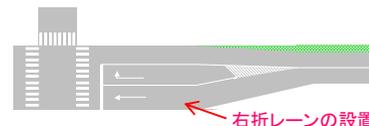
平成20年度以降も  
更なる削減に取り組めます。



● 渋滞のひどい箇所から少しでも改善できるように、渋滞長調査や交通量調査を行いその原因を分析し、優先順位をつけて事業に取り組んでいきます。

● 渋滞解消に向けたバイパス事業に取り組んでいきます。  
(一般国道191号下関北バイパス、一般国道9号小郡改良など)

● 右折待ちの車両が交通の妨げとなり、渋滞の原因となっている交差点では右折レーンを設置するなど、局所的な改良にも取り組んでいきます。



● 渋滞解消に向けた高速道路の料金割引等の社会実験に取り組んでいきます。

● 道路利用者の意見を取り入れることで、住民の視点に立った対策を実施し、実態に即した渋滞の解消を図ります。



バスケーションシステムによる公共交通支援

● 市街地などの渋滞の著しい地区、また観光シーズンや休日などの渋滞に対しては、公共交通機関の利用などのマルチモーダル施策をより一層推進します。



道路工事規制情報  
(山口河川国道事務所HP)

● 路上工事が原因となって発生する渋滞の影響を回避できるように、工事情報をわかりやすく提供します。

## TOPICS 高速道路で料金割引の社会実験！！

ETC車限定  
(全車種)

### ● 全国の高速道路で料金割引の社会実験が実施されます。

● 「高速道路の料金を下げてもっと利用しやすくしてほしい」という利用者の声にお応えして実施されます。

● この社会実験は、高速道路の料金割引が、一般道の渋滞の緩和・解消にどのくらい効果を発揮するかを検証するために実施されるものです。

● 山口県でも平成19年8月20日(月)より高速道路での料金割引の社会実験が実施されています。



平日[月曜～金曜]  
(祝日を除く)  
**3割引**

地域の自活を支えるみちづくり ① 渋滞損失時間

地域の自活を支えるみちづくり ① 渋滞損失時間

平成19年度 整備計画【山口県事業】